



報道関係者各位

2026年5月29日

**西日本豪雨をテーマ 教職（社会科・地歴公民科）防災セミナー
教職履修の学生1名とOG2名（中学校教諭と高等学校教諭）が西日本
豪雨の被災体験や授業づくりを報告
教師の立場から社会科・地歴公民科の授業において自然災害や防災につ
いての実態報告および授業づくりを学びます。**

西日本豪雨をテーマに教職履修のセミナーを実施します。本学文学部現代社会学科では、中学校教諭（社会科）、高等学校教諭（地歴科・公民科）の教員免許を取得することができます。当日の参加予定者は現代社会学科教職履修の学生19名、OGで現職教員2名です。教職履修の学生1名とOG2名（中学校教諭と高等学校教諭）が西日本豪雨の被災体験や授業づくりを報告して、当時の災害の様子を確認し、自分事として自然災害や防災、授業づくりについて考えます。

9：30～10：15 西日本豪雨における岡山県内各高校の

休講措置連絡および生徒の状況確認

GIS活用して考える倉敷市真備地区の地形

現社会学科 教授 森泰三（西日本豪雨当時岡山県内高等学校教頭）

10：30～12：00

報告①：当時倉敷市真備町での自宅被災の体験

現代社会学科教職履修3年生

報告②：当時通学していた倉敷市立真備陵南高等学校の被災と授業づくり

大阪府高等学校教諭（本学現代社会学科OG）

報告③：当時総社市での自宅被災の状況報告と授業づくり

岡山県中学校教諭（本学現代社会学科OG）

研修会では、教師として地理の授業において自然環境や防災について、実態を教えて生徒に考えさせることを学びます。

日頃の教職の授業は、中学校及び高等学校の学習指導要領に基づき、中学校社会科の地理的分野・歴史的分野及び高等学校地理歴史編の目標、内容、指導法等について探究しています。現行の学習指導要領において、中学校では社会科の地理的分野で「自然災害と防災への取組」が扱われ、高等学校では必修科目となった「地理総合」では、「GIS」や「自然環境と防災」が大きく取り扱われており、その内容を深めるために今回のセミナーを実施します。

【日時】 2026年6月20日（土）9：30～ 受付：9：00～

【場所】 ノートルダム清心女子大学 2200JB教室

【本件に関する問い合わせ先】 現代社会学科 教授 森泰三

tmori@m.ndsu.ac.jp 086-252-3160

ご取材の際は、前日までに広報室までご連絡くださいますようお願いいたします。

【取材に関するお問い合わせ先】 ノートルダム清心女子大学 広報室 担当：太田・蓮井

〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町2丁目16-9 TEL:086-252-3107

E-mail: koho@m.ndsu.ac.jp